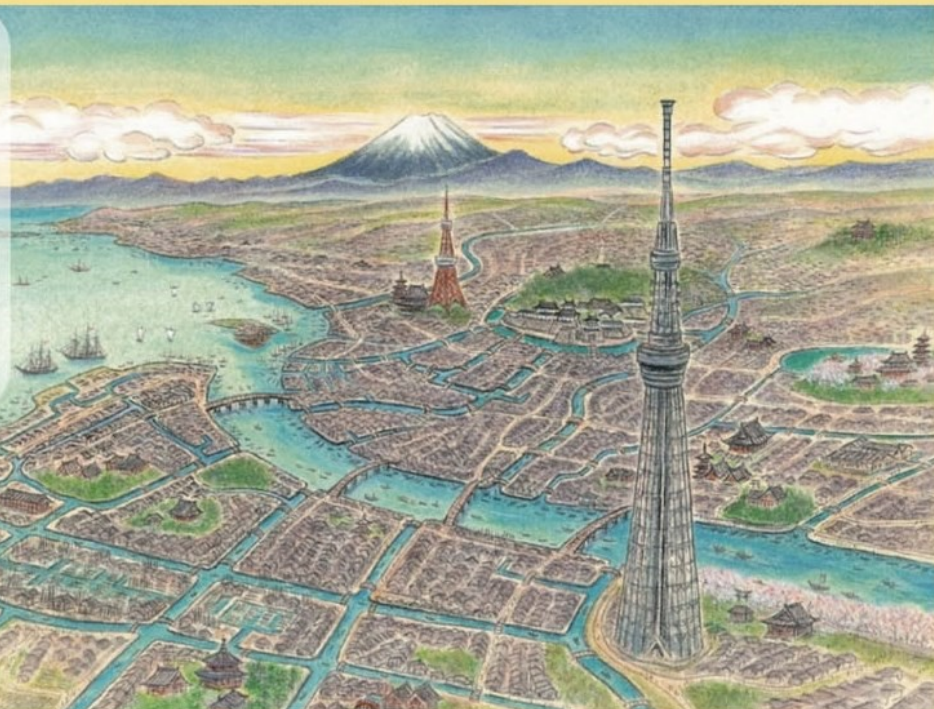


「ぼくの村」から「東京」へ ～絵本作家小林豊さんの旅と作品～

『せかいいちうつくしいぼくの村』で知られる絵本作家・小林豊さんは、旅で立ち寄った世界の村や人びと、そこで感じたあたたかい心を、独特な表現で描いてきました。生まれ育ったふるさとを舞台とした『えほん東京』でも、その愛すべきまち・愛すべき人々へのまなざしは変わらず、作品を手にする全ての人々の心にじんわりとぬくもりを伝えます。

この講演会では小林豊さんの旅、創作活動の源となった世界でのたくさんの出会いのこと、これまでの作品へ込めた思い、そして絵本作家として歩んできたこれまでの人生をお話いただきます。



2019年

11月17日(日) 14:00～15:30(13:30開場)

日比谷図書文化館 4階 スタジオプラス(小ホール)

定員 60名 (事前申込順。定員に達し次第締切) 参加費 1000円



小林豊 (絵本作家) 聞き手:小櫻浩子(ポプラ社)

小林 豊 ■ 1946年、東京に生まれる。立教大学社会学部卒業。1970年代初めから80年代初めにかけて、欧州から中東・アジア諸国をたびたびおとずれ、その折の体験が作品制作の大きなテーマとなっている。内戦の続くアフガニスタンの小さな村を舞台にした『せかいいちうつくしいぼくの村』(産経児童出版文化賞フジテレビ賞)『ぼくの村にサーカスがきた』『せかいいちうつくしい村へかえる』のほか、『まち』『えほん北緯36度線』『とうさんとぼくと風のたび』『えほん東京』(以上ポプラ社)、『ぼくの村にジウムレがおりた』(理論社)、『淀川ものがたり お船がきた日』(岩波書店)など、多数の絵本作品がある。

小櫻 浩子 ■ ポプラ社児童書事業局勤務。

小林豊 えほん「東京」パネル展

千代田図書館 9階にて 11月23日(土・祝)まで開催中
(詳細は千代田図書館ホームページをご覧ください)

お申込み

- ①ホームページの申込みフォーム
 - ②お電話 (03-3502-3340)
 - ③ご来館 (1階受付)
- いずれかにて参加希望の講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。

小学生以下のお子様に参加される場合、保護者の同伴が必要です(同伴者の方にも参加費が必要です)

主催 千代田区立 日比谷図書文化館

千代田区日比谷公園1-4 (日比谷公園内)
<https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/>

- 都営三田線「内幸町駅」
A7出口/徒歩3分
- 東京メトロ ● 丸ノ内線 ● 日比谷線「霞ヶ関駅」
B2出口/徒歩3分
- 東京メトロ ● 千代田線 「霞ヶ関駅」
C4出口/徒歩3分
- JR「新橋駅」
日比谷口(SL広場) /徒歩10分

